

毎月第二日曜日午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会を行っています。

餘慶寺見どころ



寺子屋写真館

よけいじ寺子屋だより 会場・餘慶寺会館(十四時)

「忠魂碑」とは、日清・日露戦争をはじめとする戦争などに出征し戦死した兵士の供養のための石碑です。

上寺山の境内中央には、今城地区戦没者を祀る忠魂碑

が、建てられています。以前は、本堂の北側に有りましたが、近年移設されました。

当山の忠魂碑は、大正十三年十二月に建立され、揮毫は、「宇垣一成」陸軍大将です。宇垣氏は、慶應四年東区瀬戸町生まれ、十代で小学校校長になり、後に上京。陸軍大将、外務大臣、拓務大臣、参議院議員などを歴任しました。(昭和三十一年没、正二位勲一等旭日大綬章)現在でも、山内僧侶などにより、日々献花、供養が厳修されています。



令和4年2月発行 餘慶寺だより 積善 第77号

忠魂碑と宇垣一成

今後の予定

☆『涅槃図からのメッセージ』三月十三日(日)
講師 圓乗院住職 西野祐誠 師

☆『仏教講座』四月二十四日(日)
講師 吉祥院住職 大石惠海 師

☆『仏教講座』五月五日(木・祝)
講師 本乘院住職 小林周伸 師

詳しくは
餘慶寺HPをご覧ください。
QRコード

※現在、新型コロナウイルス感染防止の為、餘慶寺寺子屋文化講座の開催を中心にしております。

編集後記

皆さま、新年あけましておめでとうございます、編集の祐聖です。今年も早一ヶ月が過ぎ先日、節分行事の豆まきをお寺でしました。子ども達から「鬼さんが怖すぎる」というご意見があり、鬼って怖いもんだ!それでいいのでは、と考えたのですが、少し趣向をえて壁に鬼さんを貼り、みんなでそこに向かって豆を投げました。子ども達が鬼の形相で豆を投げる姿を見て、どうちが鬼かわからんと感じました。まだまだ落ち着かない世情ではございますが少しづつ元の姿に戻っていくことを祈念しております。

合掌



令和4年2月発行 餘慶寺だより 積善 第77号

(1) 餘慶寺だより 積善 第77号 令和4年2月発行



餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺
〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島1187
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187
惠亮院 TEL/FAX 086-942-3788
本乘院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823
吉祥院 TEL/FAX 086-942-3789
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069
圓乗院 TEL 086-942-2356
ホームページアドレス <https://yokeiji.or.jp/>

比叡山からのお言葉

「大悲万行」
「すべての行いは大悲から」

比叡山延暦寺執行 水尾寂芳師 御筆

大悲とは、仏さまが常に人々を見守り、苦しみを取り除き安心を与えて下さる御心のこと。私たちにも具わる仏心に目覚め、利他の行ないに努めましょう。

令和四年(二〇二二年)元旦 比叡山延暦寺

新型コロナウイルスに関しての参拝のお願い

上寺山餘慶寺では各諸堂に消毒用のアルコールを設置しておりますので参拝をされる際はアルコール消毒をお願いしております。

薬師縁日(於 薬師堂)
毎月8日 午前10時~
護摩祈祷をしています。ご祈祷のお申し込みは隨時納経所へお願いします。

観音縁日(於 本堂)
毎月18日 午前8時~
みんなで観音経をあげます。お経本は本堂にありますので、お気軽に参りください。

余慶寺からのお知らせ

余慶寺ホームページ <https://yokeiji.or.jp/>

「天災は忘れた頃にやつてくる」

「天災は忘れた頃にやつてくる」とは、明治生まれの科学者であり随筆家でもある寺田寅彦のことばといわれています。

寺田寅彦は明治十一年に生まれ、昭和十年に亡くなりましたが、

その生涯で、明治三陸地震、関東大震災、昭和三陸地震、室戸台風と、幾度も災害に直面しました。なぜ人々は天災を忘れてしまうのか。それは人間の時間軸と、自然の時間軸が異なるということを認識していないせいだといつています。

たとえば南海トラフ地震は必ず起ることと言われていて、私たちも意識はしていますが、いつか起こることは、今日や明日には起きないと思っていました。しかし最近の災害の中で毎年のように「五十年に一度の」という言葉をよく耳にするようになりました。自分が生まれてこのかた経験したことのないことも、起きるようになってきたということです。人間の時間軸では、五十年は一世代も二世代も前のことと忘れてしまいそうですが、自然の時間軸では一瞬のことなのです。

現在、世界は二年以上コロナ禍の中になります。コロナウイルスが自然の一部であるならば、これも一つの天災と言えるでしょう。新型コロナウイルスに感染した事は個人的なことで、甚大な影響を社会全体に与えます。災害の影響は「私」だけに来るのではなく「私たち」にやつてくるのです。だからこそ「私たち」という意識を持つことで、個人を責めるのではなく、「私たち」にできることは何か、どうしたらみんなでこの天災を乗り越えることができるのか、ものごとを広い視野で見ることができるのはできないでしょうか。

いまこそ人とのつながりを大切に、お互い様の気持ちで、前へ進んでまいりましょう。



春の餘慶寺お彼岸法要の案内

三月十一日(月・祝)の十時より、春のお彼岸法要が餘慶寺本堂において行われます。

お彼岸法要で供養をご希望される方は、別紙「お彼岸法要のご案内」をご覧いただき、上寺山各院または餘慶寺会館納経所へ、三月十三日(日)までにお申込みください。

桜まつりのご案内

四月一日(金)より八日(金)にかけて「桜まつり」を餘慶寺境内において開催いたします。

期間中、薬師堂では秘仏薬師如来(国指定重要文化財)、聖観世音菩薩(国指定重要文化財)、十一面觀世音菩薩(県指定重要文化財)などの特別公開や護摩祈祷、本堂では花御堂の釈迦誕生仏へ甘茶を灌いでいただけるようご用意しています。また、境内では例年好評をいただいている寺庭婦人による「さくらカフェ」を行います。

特に四月八日(金)はお釈迦さまのお誕生日ですので、春の上寺山へ是非ともお参りください。

*新型コロナウイルスの状況次第で桜まつりの内容を変更する可能性がございますので来山の際は一度餘慶寺HPをご確認ください。



第一十一回 上寺山両詣り

ライトアップの報告

昨年大晦日から一月三日にかけて餘慶寺と豊原北島神社で「両詣り」と名付けて様々な行事が行われました。

昨年の新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大を鑑みて、今年も通年の催し物の一部を中止にし、感染防止対策を行い皆様が安心してお詣りができるよう努めさせていただきました。

次回二十三回の頃には新型コロナウイルスが落ち着いてまた皆様と共にゆく年に感謝しきる年と一緒に祝いしたいと願っております。

最後になりますが、両詣りを開催するにあたり、ご尽力いただきました全ての方々に心よりお礼申し上げます。今後ともご協力いただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

